地域おこし協力隊活動報告

金山の里・大ケ生地域における山里暮らしの継承支援

大ケ生地域担当　山代森

自己紹介

山代　森　やましろ　もり

平成9年生まれ　宮古市出身。
高校進学を機に岩手県を離れ、
島根県、山形県、東京都で生活。
8年ぶりに地元岩手、盛岡市へ。

大ケ生地域

盛岡市内から車で30分、距離にして15キロほど離れた、山に囲まれた小さな集落。
上大ケ生と下大ケ生、二つの自治会があります。
世帯数は合わせて１５０ほど。

大ケ生金山

明治三六年の発見から、戦争で休山する昭和十七年まで稼働していた金山。最盛期は従事者が四百名を超え、東北一の精錬所として栄えた。現在もその坑道跡を見ることができる。

こあらかまど

大ケ生地域に立つ、築百年ほどの南部曲がり家。
活動拠点であり、生活の拠点。
ここでの暮らし、そのものが協力隊の活動の一つ。

一年目の活動

（令和三年十月～令和四年九月）

・農作業支援
・一人世帯の生活支援
・大ケ生山伏神楽参加
・樹皮の工芸品製作
・地域行事参加
・映画上映会開催
・地域の記録撮影
・地元情報誌へ連載
・狩猟免許取得
・雪あかり開催

・冊子おおがゆう作成
・野菜栽培
・チェーンソー講座
・機織教室参加
・特産品の販売PR
・こあらかまど催物
・記念行事活動発表
・県外視察

二年目の活動

（令和四年十月～令和五年九月）

・農作業支援
・一人世帯生活支援
・大ケ生山伏神楽
・樹皮の工芸品製作
・地域行事参加
・映画上映会開催
・地域の記録撮影
・地元情報誌へ連載
・狩猟活動
・雪灯り開催

・冊子おおがゆう作成
・野菜栽培
・味噌づくり
・盛岡市農業まつり出店

・食品安全講習
・刈払機安全衛生講習

三年目の活動

（令和五年十月～現在～令和六年九月）

・農作業支援
・一人世帯生活支援
・大ケ生山伏神楽
・樹皮の工芸品製作
・地域行事参加
・映画上映会開催
・地域の記録撮影
・地元情報誌へ連載
・狩猟活動
・雪灯り開催

・味噌づくり
・盛岡市農業まつり出店

・中型自動車免許取得
・お餅つき会開催
・NEX文化センター講座

農作業支援

お米、キュウリ、りんご、牛の繁殖農家さんが多く、それぞれの農家さんから季節ごとの仕事を通年で教えて頂く。ネギや茗荷の収穫、ダリヤの球根掘りのお手伝いも。

一人世帯の生活支援

薪割り・雪掻き・雪下ろし・
煙突掃除・草刈り・庭木の剪
定・買い物代行など…
高齢者のお一人暮らしの方も多
いなか、小さなこと、細やかな
事でも力になれたら。

大ケ生山伏神楽

大ケ生には高江柄念仏剣舞、大ケ生高舘剣舞、城内さんさ踊り、そして大ケ生山伏神楽と四つの郷土芸能が伝わる。

神社での例大祭をはじめ、郷土芸能フェスティバル、披露宴などでも公演し、四演目を習得。

樹皮の工芸品製作

冬の農閑期は農作業もひと段落。素材から大ケ生地域で採れるもので、冬の手仕事ができたらと、樹皮を活用した布製作を始める。
夏には樹皮採取のワークショップも開催。

地域行事への参加

地域に住んで暮らすという事は、地域の一員になるということ。

公民館役員会の参加、地区の草刈り、側溝掃除、登山道の整備、地元消防団への入団など…。地域の方との人間関係や活動の幅も広がる。

映画上映会開催

こあらかまどの空間を活用し、一年目の着任当初、自己紹介も兼ねて、地元が題材となったドキュメンタリー映画「タイマグラばあちゃん」を上映。

二年目は、布を織ることをテーマとした映画「からむしのこえ」を上映。

地域の記録撮影

各家で伝え続けられている、郷土食やお正月飾り、お盆行事。それらは、「大ケ生らしさ」の重要な一つである一方、生活習慣の変化や高齢化により、年々無くなりつつある。全てを継承することは出来なくとも、今ある景色を写真で残せたら。

狩猟免許の取得

県内外の多くの農村で課題となっている鹿の獣害問題。一年目の秋に罠免許を取得。昨年、今年と二回の猟期を経験し、罠の設置から止め差し、解体そして調理まで、一連の工程を実践。

これまでの活動を通じて

大ケ生地域は、交通の便が良いとは決して言えません。

しかし、ここには人が暮らしていく「きほん」の姿が残っているように感じています。

農作業をしていると、畑のあちこちで縄文土器が出てきます。

それは四千年以上も前からこの地に人の営みがあった証です。

お米、野菜は家の前の田畑から。台所には沢水や井戸の水が流れ、山の木が、お風呂や薪ストーブの燃料となります。

今の時代、かえって豊かで最先端の暮らし方かもしれません。

そして、気づけは自分自身が、地域の皆さんから沢山のことを教え、助けて、協力していただいています。

活動期間も残り半年

山の木から布を織る

古くから東北地方の生活の中で使われてきたシナノキの樹皮繊維。
樹皮から糸を採るまでを体験するワークショップや、織り上げた布の製品化も進めてきました。
この秋、お披露目する機会を設けたいと考えています。

人と暮らしを記録する

芸能や農産物、歴史ある暮らしは地域の魅力ですが、それらは大ケ生地域の皆さんが暮らして居るからこそ。一番の魅力は「一人ひとりの人」です。

この秋、写真展の開催を目標に、日々の活動の中で地域の人と風景を写真に収めています。

まだまだ新参者ですが、
残りの半年間は地域に根差
した活動を中心に、これま
での活動も並行して続けて
いきます。

ご清聴ありがとうございました